

# 編集後記

新任編集委員の津野です。よろしくお願いたします。専門は橋梁の耐震設計ですが、高速道路管理者として、トンネルを含む多種多様な構造物の設計、施工、品質管理および維持管理に、長年にわたって携わって参りました。2018年4月から大学に移り、構造や維持管理を教えています。

国交省の統計によると、現在日本における長さ2m以上の道路橋の数は約70万、トンネルは約1万。その多くが戦後の高度成長期に構築されているため、今から5年後の2023年には、約4割の橋梁および約3割のトンネルについて、建設から50年以上経過している計算になるそうです。老朽化が進んでいるものも多く見られることから、適切な維持管理の重要性が更に増しています。ご承知の通り、2012年には中央道笹子トンネルにおいて天井版が落下し、大勢の利用者が犠牲となる痛ましい事故が発生しました。そして2014年6月、道路法が改正され、橋やトンネル等の主要な道路構造物について、5年に1回の近接目視点検が

義務化されました。しかし、予算も人材も限られていることから現場では混乱が生じており、保全業務全般におけるより一層の効率化や精度向上が、喫緊の課題となっています。これを受け、ドローンやロボットを用いた点検、AIを用いた情報の処理や診断、GPSやGIS、点群などを利用した位置情報を伴う保全情報電子データベースの構築など、様々な技術開発が急ピッチで進められています。

ライフラインの地下埋設物についても、当然状況は同じです。本誌におきましても、保全に関する最新の技術情報を共有すべく、前号の特集記事は「地上からの調査・探査・診断技術」、そして今号は「大中口径管路の非開削修繕・更生技術」となっています。点検から補修・補強を効率的かつ正確に、継続的に実施することによって健全なインフラを維持し、安心・安全な暮らしを守ることを可能とする、そんな素晴らしい技術が紹介されています。ご参照ください。  
(本誌編集委員 津野和宏)

## ○機関誌編集委員会

### □特別顧問

- ▶森田 弘昭  
(一社)日本非開削技術協会会長

### □委員長

- ▶石川 和秀  
全国ヒューム管協会専務理事

### □委員

- ▶浅井 岳春  
オリジナル設計水インフラ本部下水道技術一課係長
- ▶植木 貴幸  
㈱奥村組土木本部土木営業部営業推進課長
- ▶小川 仁  
芦森工業㈱機製品事業本部機製品営業総括部バルテム営業部マネージャー

### ▶越智 茂

管清工業㈱管理本部広報課長

### ▶河西 一嘉

㈱協和エクシオ土木事業本部土木営業部門課長代理

### ▶栗田 昌寛

(公財)水道技術研究センター管路技術部長

### ▶鈴木 敬一

川崎地質㈱戦略企画本部技術企画部課長

### ▶諏訪田浩明

東京電力パワーグリッド㈱工務部流通土木グループ運営チームリーダー

### ▶津野 和宏

国土館大理工学部理工学科まちづくり学系教授

### ▶長島 隆幸

㈱三水コンサルタント東日本事業本部東日本事業部事業部長

### ▶並木 豊

NTTインフラネット㈱東日本事業本部アーバンデザインセンタ技術担当

### ▶橋本 好弘

積水化学工業㈱環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長

### ▶人見 隆

中川ヒューム管工業㈱常務執行役員技術営業部長

### ▶森 治郎

アイレック技建㈱非開削推進事業本部営業部部長

## ○編集スタッフ

事務局長：角川 順洋  
編集：大屋 健 ・ 赤坂 誠  
安藤 雅洋

# No-Dig Today

No.106 2019 Jan. 平成31年1月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会  
発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会  
<http://www.jstt.jp/>  
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18  
E-mail: office@jstt.jp  
TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975  
発行人：森田弘昭  
印刷所：株式会社LSプランニング

## ● ご案内 ●

### ◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

### ○購読料(税込)

1冊 1,620円(本体1,500円)〒400円  
1ヵ年(4冊)6,480円(本体6,000円)〒1,600円

### ◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

### ◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

### ◇投稿

#### ・技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会で選考の上、掲載技術記事には薄謝をお送り致します。

### ◇情報のご提供について

#### ・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2019 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。